

グループ活動を中心に子供と大人が互いに教え合いながら学んでいます。

栃木県上三川町

活動名

明治放課後子ども教室

関係する学校

上三川町立明治小学校

活動区分	※H25年度の実績(補助の有無についてはH26年度の状況)			
	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度	補助の有無
土曜日の教育活動				
学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	35人	287日	有
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数

活動の概要

月曜から金曜までの放課後子供教室では、近くにある学童保育を補完する意味で、放課後の居場所づくりに努めている。原則として活動テーマは設定せず、「宿題がすんでから自由遊び」という形態をとり、保護者の迎えが来たら帰るというスタイルである。

土曜と日曜の放課後子供教室では、活動テーマを決めており、事前申込みをした児童を対象に共通の活動を行っている。(英語、習字、ものづくり、楽器遊び、吹奏楽、ゲームなど)

各活動の開催期間は短くても1か月間、多くの活動は年間を通じて開催し、同一活動を継続的に取り組ませるように工夫している。

夏休み等の長期休業中の放課後子供教室では、午前と午後の半日単位で、事前申込みをした活動テーマについて、「遊びながら学ぶ」というスタイルで単発的な講座を行っている。(藤細工、万華鏡づくり、お茶、ポシットづくり、勾玉づくり、トールペインティング、おやつづくり、饅頭づくり、ソバ打ち体験、かみたんカルタ、理科教室・化学実験、生物教室、フラワーアレンジメントなど)

● 特徴

【特徴的な活動内容】

年間をとおして、ブラスバンドや楽器教室など、音楽にふれあうような芸術活動を行っているが、活動をとおして集団生活に必要な力を身に付けさせることを意識している。練習の成果は、町のイベントや地域の敬老会などで発表し、とても喜ばれている。

また、海外生活の経験を持つ講師による英語教室なども行っている。受験勉強のための英語ではなく、「生活の場で生かせる英語」をコンセプトに、英会話を中心とする内容で開催しており、子供たちは、楽しみながら英語を学ぶことができている。

【実施に当たっての工夫】

放課後子供教室で実施する内容は、年度当初に役員や指導委員、学校、PTAからなる運営部会で協議し決定している。また、夏休みなどの長期休業前には、再度、内容や担当者、期日等の調整を行い活動テーマを決定しており、子供たちには、募集チラシを配布するなどして周知するとともに参加者を募っている。活動内容や子供たちの様子を地域の広報紙を通じて地域住民へも周知し、理解と協力をしてもらっているようにしている。

講座の案内チラシや毎月の活動予定表の配布は、学校が講座への参加呼びかけをしながら行っており、保護者との連携が図れている要因にもなっている。

低学年の児童は担任などの大人が付き添って来館することもあるなど、基本的には学校の日課に合わせて実施しているので、学校とは密接な連絡を取り合いながら進めている。



子ども教室 ブラス「明兒」

● 事業を実施して

放課後子供教室に通う子供たちの多くは新興住宅地の子供たちであり、地域に対する意識が比較的希薄であるといえる。しかし、この次世代の地域の担い手である子供たちが、本事業をとおして教室の指導者である多くの地域の方々と接し、学び育つことにより、自分が地域に支えられていると実感しており、ふるさとに対する愛情が芽生えてきている。

また、本事業をきっかけに、地域に眠る様々な人材の発掘にもつながっており、大人にとっても地域での活躍の場が創出されるなど、地域の一体感が培われている。



ゲームの風景

● その他

地域のコミュニティセンターが運営することで、子育て世代から高齢者までの幅広い年代の大人を巻き込みながら、子供を核とした地域のコミュニティが作られてきている。